

○ 不適当な写真例



帽子をかぶっている



頭部を覆うような幅の広いヘアバンドやバンダナ、はちまき等をしている



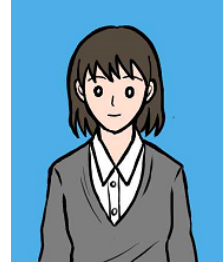
顔が正面を向いていない



視線が正面を向いていない



上三分身ではない  
(顔しか写っていない(近すぎ))



上三分身ではない  
(顔が小さい(遠すぎ))



顔の輪郭や衣類などが背景と同化している



景色等が写っている



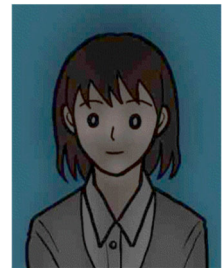
背景が壁紙の模様やカーテン模様、壁の木目などになっている



顔の一部が途切れている



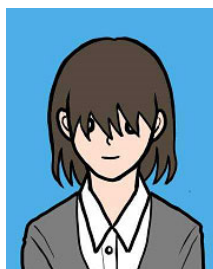
明るすぎて顔がわからない



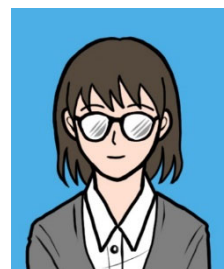
暗すぎて顔がわからない



目を細めたり閉じている



目が髪などで隠れている



眼鏡が光っていて目が確認できない



眼鏡のフレームが目にかかっている



色の濃いサングラスをしている



大笑いしているなど口を大きく開けている



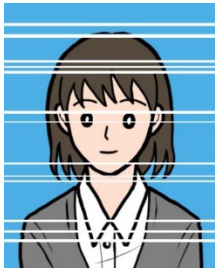
マスクをしている



衣類等で顔が隠れている①



衣類等で顔が隠れている②



印刷が不良なもの

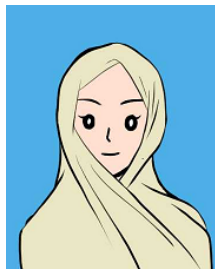


頭上に余白(3mm程度)がない

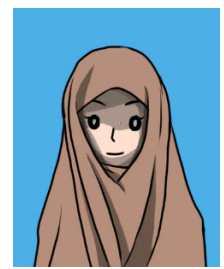
○ 不適当な写真例 (宗教上の理由により頭部を布で覆う場合)



布により顔の輪郭が見えない



布により顔の輪郭が隠れている

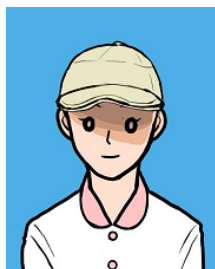


布の影で顔の輪郭が隠れている

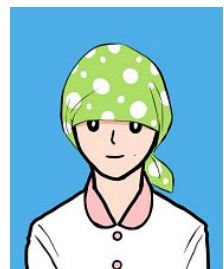
○ 不適当な写真例 (医療上の理由により帽子等を使用する場合)



帽子により目が確認できない



帽子の影により目が確認できない



スカーフにより目が確認できない